



本品に油等が付着しますと、ネジ部品に亀裂が発生し本来の特性を損なう恐れがありますので、下記の点につき注意して組み立てをお願いします。

(1) 取り付け場所の注意事項

本品を取り付ける際に、取り付け箇所に油等が付着していないか確認して、油等が付着している場合はきれいに拭き取ってください。

(2) 本品を組み立てる際の注意事項

- ① アルコールやアセトン等の薬品での本品の清掃は行わないで下さい。
- ② 油等の付いた工具を用いて組み立てないで下さい。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

下記には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示す通りになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

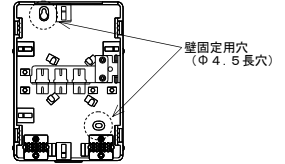
本製品に関する安全上のご注意	
<b>危険</b> 右記内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	
<b>警告</b> 右記内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。	接続箱は、落下などの無いように、確実に固定してください。高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
<b>注意</b> 右記内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び、物的損害の可能性が想定されます。	刃物などのご使用時には十分に注意してください。本製品の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。本製品の機能低下及び破損の原因となります。
<b>お願い</b> 右記の内容を無視して、誤った取扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	融着接続作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。メカニカルスプライス及び現地組立て型単心コネクタは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

使用工具一覧表

番号	工具名	番号	工具名
1	ニッパ	6	
2	カッターナイフ	7	
3	+ドライバー	8	
4		9	
5		10	

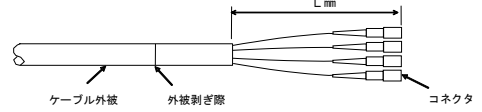
1. 接続箱の固定

接続箱を壁面にネジでしっかりと固定する。  
\*接続箱固定用のネジは添付されておりません。壁の強度や種類に合わせてネジを準備して下さい



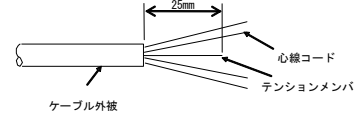
2. 光ケーブルの外被処理

1) 外被を剥き取り、上巻きを除去して下さい。



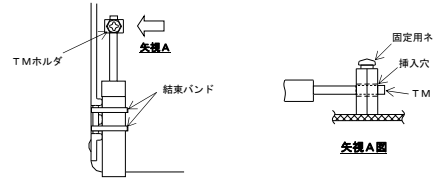
ケーブル導入口	必要長 L (mm)
左下導入	約 500
右下導入	約 660

2) テンションメンバを剥き出して下さい。



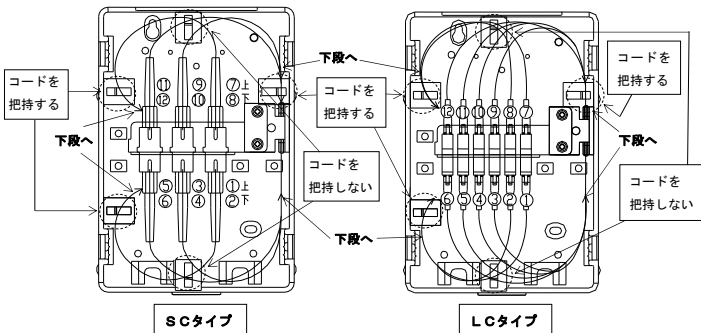
3. ケーブルの固定

- ・TMホルダの挿入穴にTMを挿入し、固定用ネジを締め付ける。
- ・外被を添付の結束バンドで締めつける。

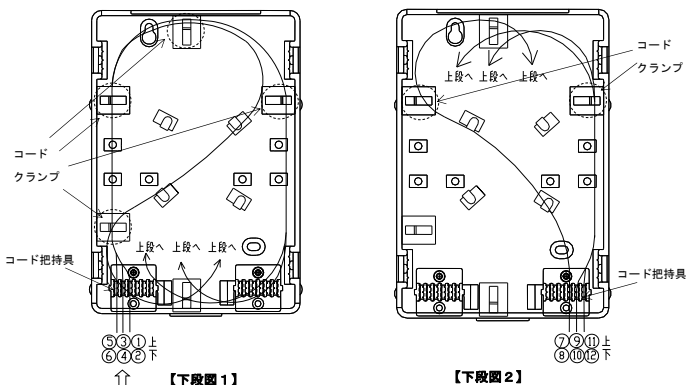


4. 光ファイバの接続・収納

① 上段の配線



② 下段の配線：ケーブル導入なしの場合



【下段図1】

【下段図2】

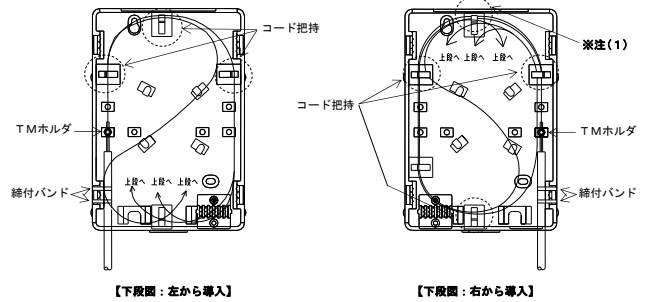
【矢視B図】

- ・コードを各2本ずつ（例：①②、③④…）配線して下さい。
- ・コード把持具にコードを【矢視B図】のように2本ずつ把持して下さい。

※下段図内配線コードは図面上で囲み指示された箇所コードクランプで把持して下さい。

③ 下段の配線：ケーブルを導入する場合

上段の配線は①上段の配線を参照してください。



【下段図：左から導入】

【下段図：右から導入】

※注(1)

上段へ繋がる配線コードは把持しないで下さい（それ以外は把持して下さい）

※ケーブル及び心線コード導入時のご注意※

- ・過度な捻り・引っ張り・折り曲げを加えないでください。
- ・ケーブルを左下から導入する場合は下コードクランプ及びコード把持具を取り外し導入して下さい。右下導入時も同様に右下コード把持具を取り外し導入して下さい。（③下段の配線参照）

5. カバーの取り付け

カバーを被せる際に心線コードを本体との間に挟み込まないように注意して下さい。

以上